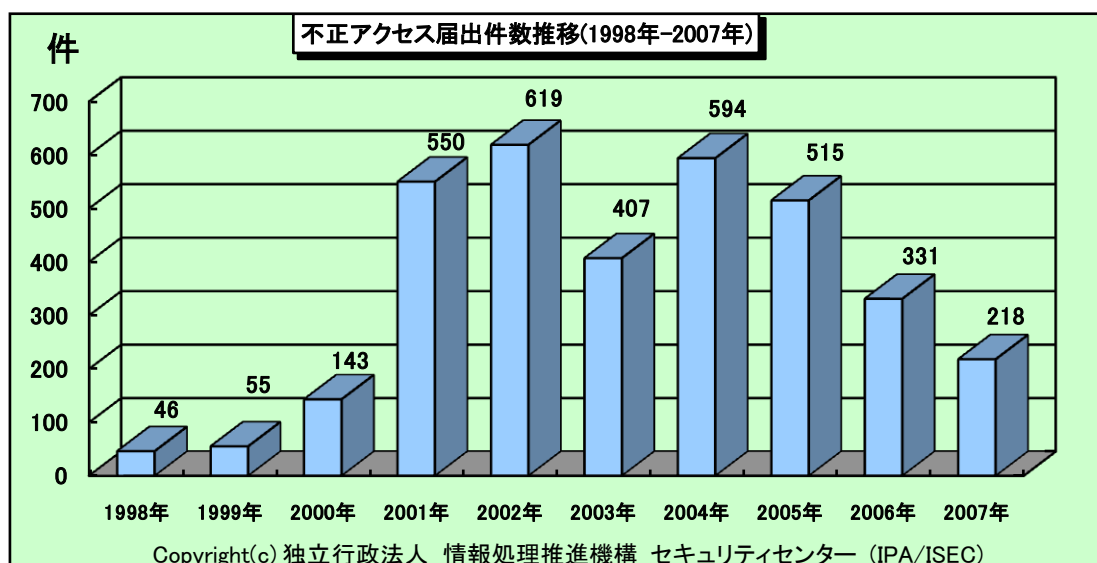


2007年のコンピュータ不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2007年1月～12月のコンピュータ不正アクセス届出状況をまとめました。

1. 届出件数

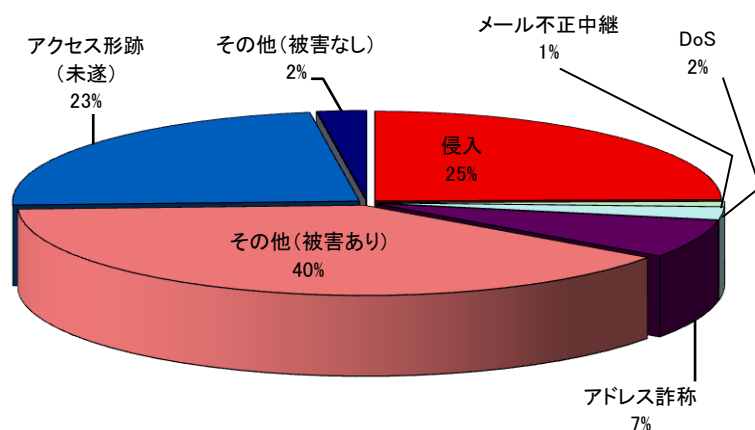
2007年の年間届出件数は**218件**となり、2006年の届出件数331件と比べて約**34%減少**しました。なお、下記グラフは、過去10年間にIPAセキュリティセンターが受け付けた届出件数の推移を示したものです。



2. 届出種別

2007年は2006年と比べて、全体の届出数は大幅に減少したものの、**被害があった届出件数は同じでした**。被害が無い事案については、届出が控えられる傾向があるようです。

2007年不正アクセス届出種別



届出種別	2007年	2006年
侵入	54	94
メール不正中継	2	1
ワーム感染	0	16
DoS(サービス妨害)	5	12
アドレス詐称	15	7
その他(被害あり)	86	32
アクセス形跡(未遂)	51	159
ワーム形跡	0	5
その他(被害なし)	5	5
合計 (件)	218(162)	331(162)

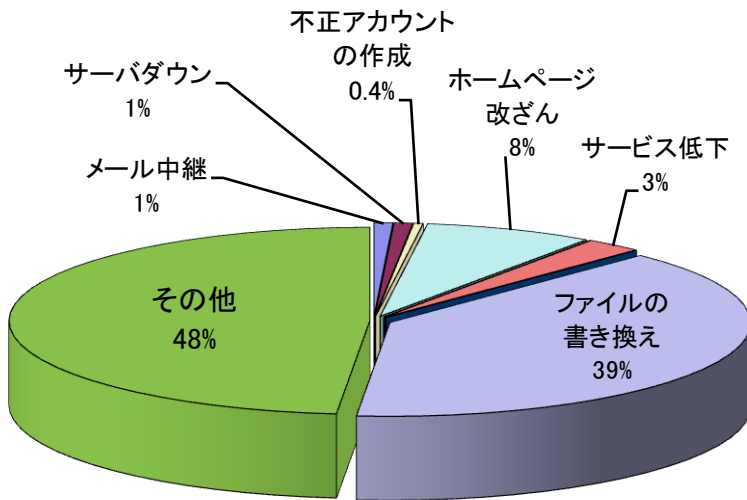
*1)「アクセス形跡(未遂)」はサーバーのログやファイアウォールのログに不正アクセスの痕跡があったもの

※ 網掛け部分とカッコ内の数字は、被害があった届出種別を示しています。

3. 被害内容

届出のうち実際に被害があったケースにおける被害内容の分類です。被害件数は前年比約3%の微増でした。**ファイルの書き換え（プログラムの埋め込み含む）及びホームページの改ざんによる被害届出**が多く寄せられました。「その他」の主な内訳は、“オンラインサービスにおける本人へのなりすまし”や“外部サイト攻撃の踏み台として悪用された”ものなどでした。

2007年不正アクセス被害内容



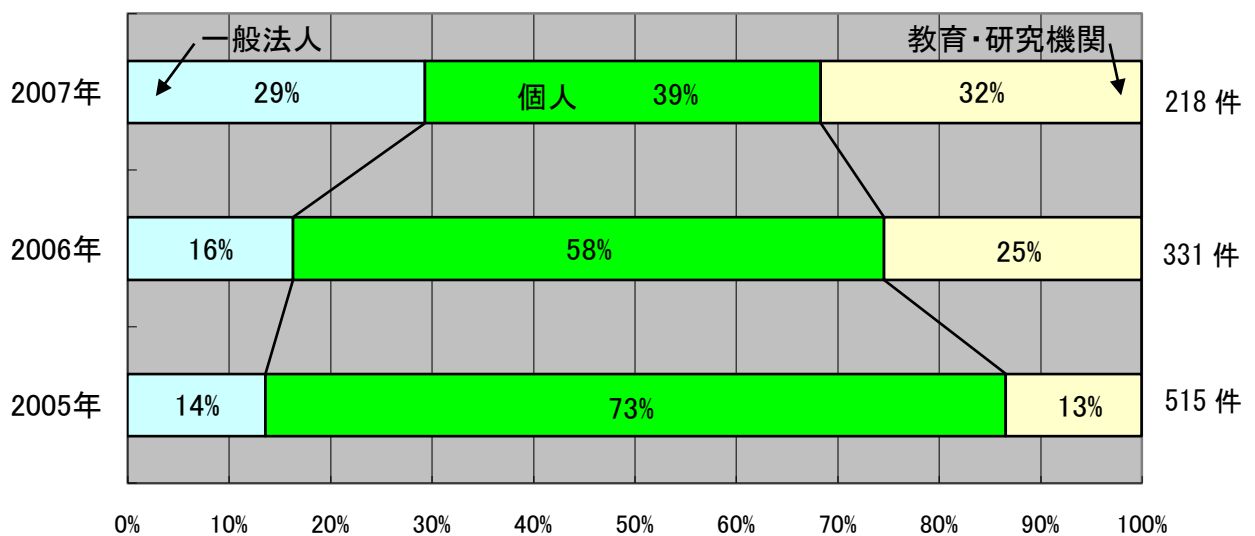
被害内容	2007年	2006年
メール不正中継	2	2
サーバダウン	2	0
不正アカウントの作成	1	1
ホームページ改ざん	18	34
パスワードファイルの盗用	0	0
サービス低下	6	16
オーブンプロキシ	0	0
ファイルの書き換え	93	92
その他	115	84
合計（件）	237(※)	229(※)

※実被害届出1件に複数の被害内容が存在するケースもあるため実被害届出件数合計と一致していません。

4. 届出者の分類

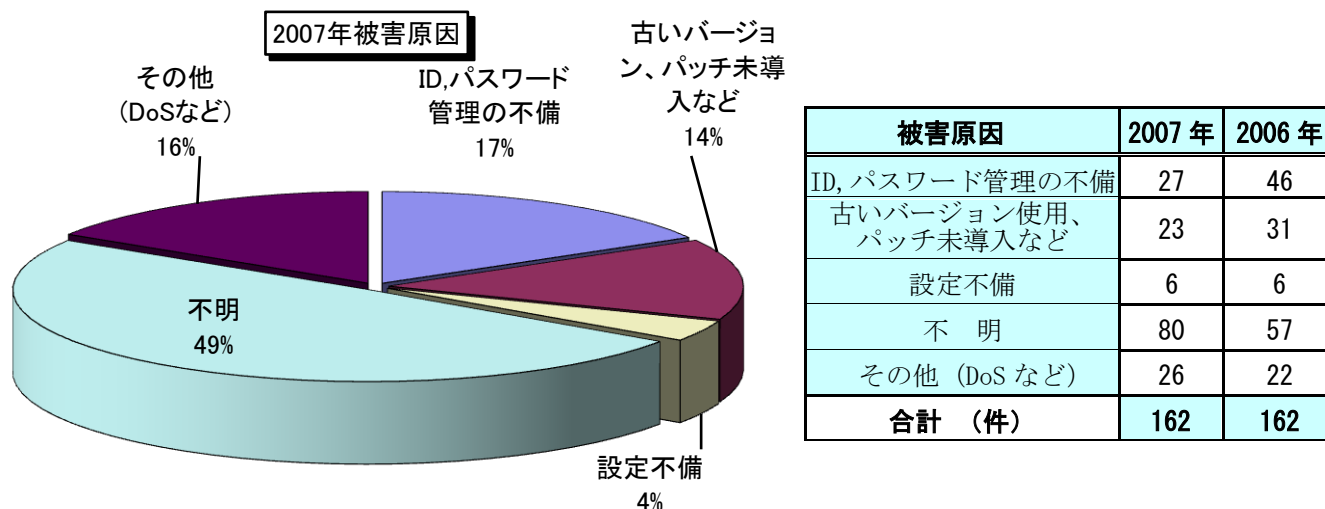
届出者別の内訳は、**個人からの届出割合が昨年に引き続き減少傾向にあり、3つのカテゴリがほぼ均等**になりつつあります。

不正アクセス届出者別推移



5. 被害原因

実際に被害があった届出を原因別分類に見ますと、ID・パスワード管理・設定の不備が 27 件 (17%)、古いバージョン使用・パッチ未導入などが 23 件 (14%)、設定不備が 6 件 (4%)、となっています。原因が不明なケースは 80 件 (49%) と大幅に増加しており、ますます**不正アクセスの手口が巧妙化するとともに原因究明が困難な事例が多くなっている**ということが推測されます。



6. 対策情報

2007 年の特徴として、SSH で使用するポートへの攻撃で侵入された被害 (ID、パスワードの設定不備が主な原因) や、OS もしくは Web アプリケーションなどの脆弱性を突かれたことによる被害が特に目立っていたことが挙げられます。しかしながら、基本的なセキュリティ対策を実施していれば、被害を免れていたと思われるケースが非常に多く見受けられます。**システム管理者**は以下の点を確認して総合的に対策を行いましょ。

- ・ ID やパスワードの厳重な管理及び設定
- ・ セキュリティホールの解消 (パッチ適用不可の場合は、運用による回避策も含む)
- ・ ルータやファイアウォールなどの設定やアクセス制御設定
- ・ こまめなログのチェック

また、**個人ユーザ**においても同様に以下の点に注意しましょう。

- ・ Windows Update や Office Update など、OS やアプリケーションソフトのアップデート
- ・ パスワードの設定と管理 (複雑化、定期的に変更、安易に他人に教えないなど)
- ・ 無線 LAN や PC 共有についてのセキュリティ設定確認
- ・ ルータやパーソナルファイアウォールの活用

下記情報も参考にしてください。

システム管理者向け

- ・ 「情報セキュリティに関する啓発資料」
<http://www.ipa.go.jp/security/fy18/reports/contents/>
- ・ 「脆弱性対策のチェックポイント」
http://www.ipa.go.jp/security/vuln/20050623_websecurity.html
- ・ 「安全なウェブサイトの作り方 改訂第 2 版」
<http://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

- ・「情報セキュリティ対策ベンチマーク」
<http://www.ipa.go.jp/security/benchmark/>
- ・「JVN (Japan Vulnerability Notes)」 ※脆弱性対策情報ポータルサイト
<http://www.ipa.go.jp/security/news/news.html>

エンドユーザ・ホームユーザ向け

- ・「IPA セキュリティセンター・個人ユーザ向けページ」
<http://www.ipa.go.jp/security/personal/>
- ・「コンピュータを守るために最低限必要なセキュリティ対策」(マイクロソフト社)
<http://www.microsoft.com/japan/athome/security/protect/default.aspx>

■お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

加賀谷／花村／宮本

Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp